

飛驒を舞台にした映画 9月より撮影 「君の忘れ方(仮題)」 地元出演者を募集中!

グリーンケア(大切な人を亡くした人をサポートする)ことをテーマにした映画「君の忘れ方(仮題)」が、飛驒地域を舞台に9月から撮影に入ります。

発表されたのは3月26日、でこなる座(本町3)で開かれた映画上映会「ツキイチシネマ」にて。高山市出身のプロデューサー、益田祐美子さん(株式会社平成プロジェクト代表:東京)から概要が語られました。

益田さんは3年ほど前からこの映画を構想し、準備を開始。物語は飛驒出身の主人公(男性)が結婚直前に婚約者を亡くし、その悲しみとどう向き合い、周囲の人々はどのようにかわっていくのかというもの。キャストは警察官や医師、子どもなど10名ほど

と、喪失感を抱える重要な役どころも募集。またエキストラも地元から募ります。

発表当日はその映画の監督を務める、作道雄さんも登壇。同氏が監督した短編映画「THEATER」が上映され、その後、主演俳優、津田寛治さんと作道監督の熱いトークで盛り上がりました。引き続き行われたのは、「君の忘れ方」のキャストオーディション。正式な地元オーディションに先がけて、8名の参加者が監督のリクエストに応じてパフォーマンズなどを行いました。

公開は来年秋の予定。益田さんは「美しい飛驒を舞台に、一緒に映画をつくる感動を分かち合いませんか」と呼びかけています。



▲益田祐美子プロデューサー

▲作道雄監督



▲キャストオーディションに参加したみなさん

映画「君の忘れ方(仮題)」 公開:令和6年秋 予定

企画:日本デジタル配信
配給:ラビットハウス・平成プロジェクト

地元オーディション:7月下旬~8月上旬 予定
希望者は、平成プロジェクトの公式サイト内、「君の忘れ方」オーディション情報をクリックして申請ください。エキストラ情報は7月上旬告知。

【問い合わせ】
株式会社平成プロジェクト
TEL 03-3261-3970
(11:00~16:00)

web
サイト▶



▲作道雄さんと津田寛治さんのトークセッション



▲新作映画の制作発表が行われた、でこなる座の「ツキイチシネマ」

「君の忘れ方」 (仮) あらすじ

森下昂 (26) は小説家。恋人の美紀とは付き合ってから3年が経った結婚間近、突然の病で美紀を失った。急に襲ってきた哀しみの中、昂はうまく感情を整理できず、また泣くことさえもできない。実家に呼び戻され、飛騨に帰った昂は、未亡人の母、洋子が元気になっている姿を見て驚く。昂の父は通り魔にあって殺されており、以降、洋子は悲嘆に沈み、家事も出来ず、いわばゴミ屋敷に住んでいたのだ。昂は、そんな母から逃げるように東京に出ていた過去があった。きっかけさえあれば人は立ち直れるのではなかと思った昂は、「グリーフケア」の概念を知る。

他人には放っておいてほしいのが「悲しみ」。そう思っていた昂は、訝しみながらもグリーフケアの会合に参加。昂はそこで、個性的な人々と出会う。亡くした妻の幽霊と会話する男、愛する者を奪った者への復讐を胸に秘めて生きる者……

他人からすると、放っておけないのも「悲しみ」。果たして本当に、人は喪失から立ち直ることができるのか。昂は、亡くした美紀への思いと、どう向き合って生きると決めるのか。ラブストーリー、幽霊や復讐劇、あらゆるジャンルの面白さを詰め込んだ、オリジナルストーリー。

監督は、第79回ヴェネチア国際映画祭に正式招待の作道雄。海外映画祭への出品・正式招待を念頭に、製作準備中。

「君の忘れ方」オーディションは 7月上旬に こちらのサイトにて

募集要項と役柄 日時をお知らせします

告知日時まで しばしお待ちください

問い合わせは 下記 平成プロの窓口まで

<https://heisei.pro/contact>